

課題番号 12

基本方針：Ⅱ	課題名：夏どりイチゴの産地育成	
対象：天川村	計画期間：H30～R2	
	事務所名：南部農林振興事務所	
普及指導事項	活動内容	活動成果（計画当初→R1年度末）
①夏どりイチゴの生産安定化	試験栽培への支援 収量増加の検証 低コスト栽培の検証 実需者が求める果実の検証 病虫害防除の検証 栽培に関する打ち合わせ	品種の絞り込み 6品種 → 2品種 収量増加 1.3t → 2.3t
②新たな担い手の確保支援	情報収集・提供	栽培候補者発掘 なし → 1名決定

総合評価（コメント）

A：6名

- これからこそ、加速させてください。準備段階は終わり、その時期に入ったと感じます。県内の山村への導入可能性についても是非。
- 産地振興のためにも大いに期待しております。また、イチゴについて新たな品目の提案も積極的にお願ひします。
- 林業中心の村であったが、新たな特産品の開発につながったこと。担い手が確保出来たことは素晴らしい成果と思う。継続的に取り組みが進められるよう支援活動をお願いします。
- 販路も作り、生産者もいるので、量産に向けて頑張っけて欲しい。産地化になれば新規就農希望者も望めるのではないか。
- 普及活動はおおむね適切である。
- 語弊はあるが、ある意味失敗が許されても、農業者に新しいビジョンを提示するという普及活動の意味があると感じた。担い手候補の発掘には、ぜひ高収益モデルを示してほしい。

普及指導計画への反映状況等

- 生産の安定化、コスト削減に向けた生産方式を検討しつつ、今後の産地化に向けて高収益モデルが示せるような取り組みを進めます。
- 次年度より栽培に取り組む者については、定着に向けた定期的な支援を行います。
- 販売面については、村とともに「洞川夏イチゴ」のPR活動を行い、より有利販売に向けた取り組みを進めます。